

2024 年度の事業報告について

2024 年度は、改正児童福祉法の施行、こども大綱に基づく都道府県・市町村のこども計画策定、こども未来戦略方針に基づく加速化プラン等の各施策がスタートしました。改正児童福祉法に伴い自治体に努力義務として設置が求められている「こども家庭センター」及び「地域子育て相談機関」については、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業が関連することから、国の調査研究への参画やオンラインフォーラム「地域子育て相談機関のあり方について考える」を開催いたしました。特に、利用者支援事業が施行されて 10 年目となり事業の再編等がありましたので、「利用者支援事業のための実践ガイド」（中央法規出版）を改訂・発行するとともに、普及版のパンフレットの改訂も同時に行い「これならわかる！こどもまんなか社会の利用者支援事業 概要と取組」を発行、会員の皆様に配布させていただきました。

こども家庭庁委託の研修セミナーは、全国セミナーは山口県山口市、地方セミナーは、愛知、福井、福島、東京で開催、合計約 1,300 名の参加となり、学びと交流の機会となりました。ご登壇者、参加者、関係の皆様に改めて御礼申し上げます。

自主事業は、恒例の「リーダーシップ研修」において長年理事を務めていただいた 3 人の理事から学ぶ 1 日目と、2 日間の対面研修の特別バージョンで開催しました。その他、5 年ぶりに実施した「地域子育て支援士一種養成講座」には 30 名の参加がありました。ひろば全協が参加費無料の講座・セミナーを実施できる背景には、賛同いただいている企業のご支援があります。この場を借りて御礼申し上げます。

また、多くの自治体から個別の研修依頼を受けることができました。ひろば全協では毎年、全国の自治体（県及び市）に研修パンフレットを配布しております。皆様の学びの機会を増やすために、ぜひ地元の自治体にご活用いただけるよう声掛けをお願いいたします。

法人としては中期計画 2 年目。キャッチフレーズ「ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点」に沿って事業を展開しました。少子化という大きな社会の状況のなかにあって、男性の育児休業取得者が 3 割を超えるなど好ましい傾向もみられます。国の委員会、調査研究にも積極的に参加しつつ、子育て家庭に接する最前線の現場の声をつなぎながら意見書を提出、皆さま方にも情報提供してきた 1 年でした。また、法人の基盤強化を目的に理事体制のあり方や情報発信について検討し、未来を見据えて体制整備に努めてきました。

最後に全国の会員の皆さま、ご支援いただいている企業・団体の皆さまに感謝を申し上げ、2024 年度の報告とさせていただきます。

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山千鶴子

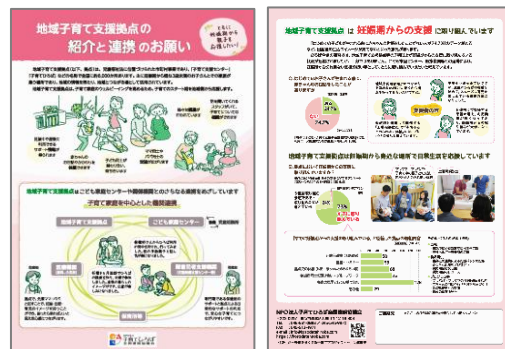
中期計画キャッチフレーズ 『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』

中期計画に取り組んで 2 年目となった 2024 年度は、発信のプラットフォームとなる SNS のフォロワー数や発信数の充実につとめるとともに、他機関との連携につなげるためのチラシ媒体の作成、企業との連携強化、会員の方々との交流機会の創出などに力点を置いて活動を行った。

◆重点テーマ1◆ 地域子育て支援拠点の価値の発信と社会的認知度の向上

(1) 妊娠したら、育休取ったら、拠点へ GO! キャンペーンの実施

●妊娠期からの親子をともに応援するために専門機関との連携強化に向けたチラシを作成し、会員に各 10 枚を送付。
各会員が、こども家庭センター・医療機関・保育所等に自団体のひろばを案内するパンフレットとともに持参し、妊娠期からの切れ目ない支援の担い手として、ともに取り組んでいくツールとして活用いただくよう案内を行った。



(2) 拠点で取り組む最新情報の発信

●妊娠期からの地域子育て支援拠点における支援の取組状況について、動画を作成し、ホームページに掲載するとともに、Instagram などの SNS で配信を進めていく準備を行った。

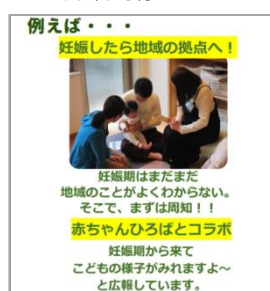
取組事例動画①

一般社団法人ここみ



取組事例動画②

NPO 法人松戸子育てさばーとハーモニー



取組事例①

市内のすべての拠点で実施している「妊婦さんと家族のための講座」によって、保健師、助産師さんとの連携で情報提供を行ったり沐浴練習会などを実施する

ことで、産後の拠点利用につながる様子を紹介。

取組事例②

行政と協働で実施している事例として、拠点が保健師さんと連携して開催しているママパパ学級や、先輩パパとの交流会、こども家庭センターとの連携による妊娠 8 か月面談などを紹介。

◆重点テーマ2◆ 会員と共に育てる豊かな地域子育て支援

(1) 会員間のコミュニティづくり

●ランチ交流会

こども家庭庁の研修セミナーの地方開催で団体名を紹介するなどランチ交流会を実施。ネットワーク作りの機会を創出した。

●オンライン交流会の実施

NPO 法人ふらっとスペース金剛のひろばの様子をオンラインで中継し、環境設定などの工夫を紹介した。SNS も活用した周知を行ったが、直前の周知であったこともあり参加人数は少なかったため今後は内容を再検討する。



(2) ひろば全協へ意見を収集しニーズに沿った事業を実施

●テーマ別交流会

日頃気になるテーマについて会員同士で情報交換をしながら交流した。

- ・テーマ①ボランティアの力を拠点に活かす
- ・テーマ②スタッフ同士のコミュニケーション
- ・テーマ③地域を巻き込んだつながりづくり

●利用者支援専門員のひろば

登録した利用者支援事業（基本型）を実施する会員に講座を実施しネットワーク作りにつなげた。

◆重点テーマ3◆ 企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

(1) 企業との連携

助成金により、地域子育て支援に関わる従事者の質の向上と研修の開発、学びのためのツール作成などに貢献いただいた。また、社員が安心して地域で子育てをするイメージを持つことができるように、子育てひろばへの理解を深めていただく機会を創出するとともに、利用者と企業の方が交流することで、育休や両立支援などに関する情報交換を行う機会にもなっている。

●住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」

各種研修の開発、冊子発行、書籍の編集、調査研究、フォーラムなど、各事業の基礎となる部分に多大なるご助成をいただき、子育て環境の整備と実践者への支援にお力添えをいただいている。

<2024年度の主な活動内容>

- ・プレママ・プレパパ向けの講座のためのワークショップ
- ・地域子育て相談機関フォーラム
- ・予防型プログラム研修
- ・テーマ別交流会
- ・利用者支援専門員（基本型）のひろば



●熊谷組「スマイルプロジェクト」(2020年～継続中)

社員がボランティア休暇を利用し、ひろばでこどもの見守りやイベントのお手伝いに参加。熊谷組のマスコットキャラ「くま所長」をあしらった『くまトレイン』をひろばにプレゼントした。NPO法人ゆったりの「ゆうゆうひろば」(東京都新宿区)で、夕涼み会やスイカ割りのお手伝いなど、親子の見守りも行っていた。



●江崎グリコ株式会社 バイグリコ活動による資金支援プログラム 『CSR イベント 2024』

従業員自社商品購入点数をポイント化し、そのポイントを資金とした助成をいただくとともに、札幌・仙台・横浜のひろばで社員の方がボランティアとして活動。森の中を一緒に散策したり、拠点の中で絵本の読み聞かせやイベントのお手伝いを行っていただいた。



【北海道】 NPO 法人子育て応援かざぐるま (北海道札幌市)

2024/10/23 2歳児の森のようちえん「トコトコらぶ」・2024/10/24 子育て拠点てんてん

【宮城】 NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク (宮城県仙台市)

2024/10/24 のびすく若林 / 2024/10/25 のびすく仙台



【神奈川】 認定 NPO 法人びーのびーの (神奈川県横浜市)

2024/10/11・2024/11/19 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ

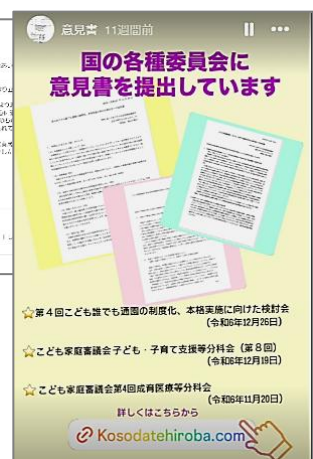
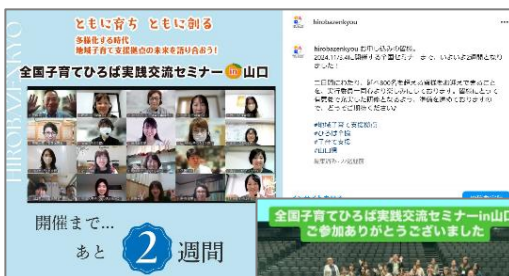


●経団連と日本 NPO センター共催の「企業と NPO の集い」に参加

プレママ・プレパパ支援を中心に拠点の役割を紹介すると共に参加企業に対してひろば全協の認知度UPを目指した。

(2) SNS の整備

- ・Instagram のフォロワー数の目標を 1000 と設定し、2024 年度末で 1127 フォロワーを達成。
- ・研修事業の告知や報告、理事の活動や拠点訪問の様子、意見書提出や委員会出席など多面的に活用した。



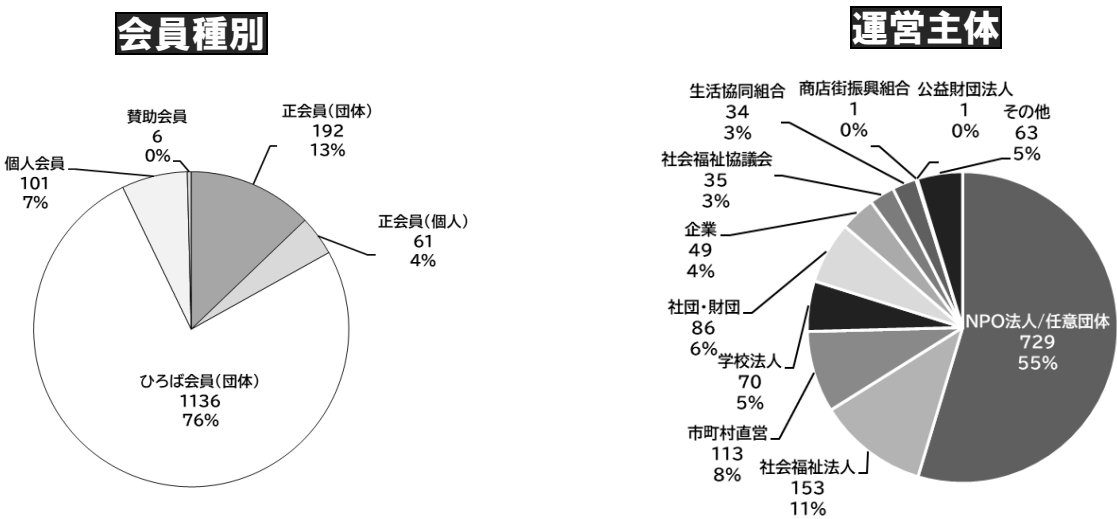
2024 年度事業報告の件

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

1. 会員について（2025 年 3 月 31 日時点）

会員総数 1,496（団体 1,334 個人 162）前年より 31 増加（新規：99）

正会員（団体）192 正会員（個人）61 ひろば会員 1,136 賛助会員 6 個人会員 101



◆都道府県別 会員数

	正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計		正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計		正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計
北海道	2	2	27	6	0	37	山梨県	6	0	10	0	0	16	鳥取県	0	0	2	0	0	2
青森県	1	1	3	1	0	6	静岡県	6	2	24	3	0	35	広島県	3	1	30	1	0	35
秋田県	0	0	5	0	0	5	愛知県	5	3	52	6	1	67	山口県	3	1	26	2	0	32
岩手県	2	1	8	0	0	11	岐阜県	2	2	5	4	0	13	愛媛県	6	0	15	1	0	22
宮城県	4	2	10	3	2	21	石川県	2	0	7	0	0	9	香川県	8	3	19	0	0	30
山形県	4	1	9	2	0	16	富山県	0	0	0	4	0	4	徳島県	4	0	5	2	0	11
福島県	3	1	16	0	0	20	福井県	3	1	8	0	0	12	高知県	2	1	1	0	0	4
新潟県	3	2	11	2	0	18	三重県	3	0	4	1	0	8	福岡県	0	2	35	3	0	40
栃木県	0	0	8	0	0	8	和歌山県	0	0	10	0	0	10	長崎県	2	0	20	1	0	23
茨城県	2	0	18	3	0	23	大阪府	19	5	153	5	0	182	熊本県	4	1	8	1	0	14
群馬県	2	0	5	0	0	7	京都府	2	1	30	1	0	34	佐賀県	0	1	12	3	0	16
埼玉県	19	2	38	8	0	67	滋賀県	1	0	15	1	0	17	大分県	4	1	13	2	0	20
千葉県	9	7	37	3	0	56	奈良県	1	1	34	1	0	37	宮崎県	1	0	8	0	0	9
東京都	21	6	144	15	3	189	兵庫県	6	1	38	3	0	48	鹿児島県	2	1	17	0	0	20
神奈川県	16	5	129	4	0	154	岡山県	6	3	23	2	0	34	沖縄県	0	0	3	5	0	8
長野県	3	0	39	2	0	44	島根県	0	0	2	0	0	2	合計	192	61	1136	101	6	1496

2. 住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」助成事業



(1) 利用者支援専門員（基本型）のひろば

利用者支援事業（基本型）の実施団体と専門員のための「利用者支援専門員（基本型）のひろば」を実施。事業の目的や専門員の役割を確認し、情報提供・情報交換、事例検討等を通じて事業の促進やスキルアップを図ると共に、相談支援体制の強化、専門員の更なる社会的位置づけの向上を目指した。

① 「利用者支援専門員（基本型）のひろば」への登録とメールマガジンの配信

- ・「利用者支援専門員（基本型）のひろば」への登録推進を HP やメールニュースで広報した。
- ・登録要件：「ひろば全協会員」かつ「利用者支援事業（基本型）を実施している拠点または専門員」
- ・登録者数：144（2025 年 3 月 31 日現在）
- ・隔月でメールマガジンを配信し、利用者支援事業についての国の「最新情報」、「各地の取組」など利用者支援事業に特化した情報提供を行った。（4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月）

②利用者支援専門員（基本型）のひろば専用講座の開催（オンライン開催）

2023 年度にもご好評いただいた講座を 2 回開催し、具体的な事例を基にグループワークを行った。

日程	時間	人数	事例内容
9/13（金）	13:30～16:30	39	こどもの発達に課題を持つ、転居してきた家族への支援
2025/2/13（木）	13:30～16:30	23	夫の手助けなく双子の乳児を育てる母親への支援

●講師：橋本真紀先生 関西学院大学 教授

●コーディネーター：ひろば全協理事

③交流会の開催 1 回

全国の利用者支援専門員が日頃の活動での気づきや課題等を情報交換するための交流会を開催した。

日程	時間	人数	テーマ
12/13（金）	13:30～16:30	31	・記録、情報管理＋行政との情報共有の課題 ・地域連携での課題

●コーディネーター：ひろば全協理事

（2）「利用者支援事業のための実践ガイド」改訂 第 2 版発行

初版 4,000 部を完売したため、新しい制度や最新の実践事例等を掲載した改訂を行い、子育て支援員研修や利用者支援事業の研修等でも活用できる内容とした。

執筆者：橋本真紀先生（関西学院大学 教授）
新澤拓治さん（社会福祉法人 雲柱社 施設長）
坂本純子さん（NP0 法人新座子育てネットワーク 代表理事）
奥山千鶴子（ひろば全協理事）

内容：第 1 章 利用者支援事業の創設と制度的な位置づけ
第 2 章 利用者支援事業の概要
第 3 章 利用者支援専門員の役割と力量
第 4 章 利用者支援事業の運営
第 5 章 利用者支援の実践事例
第 6 章 資料

編著：橋本真紀

編集：NP0 法人子育てひろば全国連絡協議会

発行時期：2025 年 4 月

発行：中央法規出版（株）

定価：2,200 円（本体 2,000 円＋税 10%）



（3）「利用者支援事業の実践のために」パンフレット改訂

新しい制度や最新の実践事例等を掲載し、利用者支援事業を理解していただくため、わかりやすく解説したパンフレットの最新版を作成した。

タイトル：「こどもまんなか社会の利用者支援事業 概要と取組」

執筆者：橋本真紀先生（関西学院大学 教授）

奥山千鶴子・小川由美・松田妙子（ひろば全協理事）

発行時期：2025 年 3 月

ページ：16 ページ

発行：NP0 法人子育てひろば全国連絡協議会

印刷部数：10,000 部

配布先：ひろば全協の全会員（1,500 会員）

全国の地域子育て支援拠点（5,800 か所）

セミナー参加者等（約 1,500 名）

WEB からのダウンロードも可能



ダウンロード 用 QR



(4) 地域子育て相談機関フォーラム（オンライン開催）

令和6年4月1日から地域子育て相談機関が創設され、子育て世帯にとっていつでも気軽に遊びに行ける地域子育て支援拠点は、地域子育て相談機関の一翼を担う場として期待されている。これまで拠点は親同士の相互交流を行い、親子を地域とつなぐ中で、子育ての不安・悩みを相談できる関係性を育んできた。すでに地域子育て相談機関の取り組みが始まっている拠点の先駆事例やこども家庭センターとの連携のあり方など、期待されている役割を一緒に考えた。

●テーマ：地域子育て相談機関のあり方について考える ～期待されている役割やこども家庭センターとの連携

●日時：2025年1月23日（木）13:30～16:00

●プログラム内容

来賓挨拶

松井秀樹 様

（住友生命相互会社 ブランドコミュニケーション部
ソーシャルコミュニケーション室 室長）

1. 行政説明 安里賀奈子さん（こども家庭庁 成育局 成育環境課 課長）

2. 講演「地域子育て相談機関のあり方 期待される役割と課題」

講師：倉石哲也先生（武庫川女子大学 教授）

3. トークセッション「期待される役割と連携について」

話し手：牛田由美子さん（NPO法人ファミリーステーションRin 副代表理事）

新澤拓治さん（社会福祉法人雲柱社 施設長）

倉石哲也先生（武庫川女子大学 教授）

コーディネーター：中條美奈子（ひろば全協 理事）

●チラシ送付先：ひろば全協会員、全国の地域子育て支援拠点

●参加者：403 名

●参加費：無料



(5) 「予防型プログラム(講座・講習)」地域子育て支援拠点職員が実施するための手引きを 活用したフォーラムの開催・研修の実施（オンライン開催）

利用者参加型のグループワークを活用したプログラムをすでに実施している職員に向け、拠点を利用する親が自分なりの子育てを見出し肯定的な養育イメージが得られるよう支援するための「予防型プログラム」の理解を深め、実践力をつける講座を実施した。

① 「予防型プログラム」研修初任者向けの実施（オンライン開催）

日程	時間	人数	協力団体
7/29（月）	13:30～15:30	38	NPO 法人くすくす
2025/2/5（水）	13:30～15:30	39	NPO 法人くすくす

●対象者：利用者参加型のグループワークを活用したプログラムの実施経験が浅い拠点の職員

●講師：2 名（ひろば全協理事）

●参加費：無料

② 「予防型プログラム」研修経験者向けの実施（オンライン開催）

グループワーク後の振り返りや日頃の活動への活用方法など「予防型プログラム」のさらなる展開を学ぶ研修プログラムを開催した。

日程	時間	人数	協力団体
10/21（月）	13:30～16:15	35	NPO 法人せたがや子育てネット
2025/2/19（水）	13:30～16:15	38	認定 NPO 法人びーのびーの

●対象者：経験者向け（何度か予防型プログラムを実施した経験のある拠点職員）

●講師：2 名（ひろば全協理事）

●参加費：無料

（６）プレママ・プレパパ向け講座のためのワークショップ（オンライン開催）

妊娠期からの切れ目ない支援のために、地域子育て支援拠点でできる「プレママ・プレパパ向け講座」について考えるワークショップを２回開催した。キャンセル待ちを受け付けるほどたくさんのお申し込みをいただいた。尚、当日事務局は協力団体に依頼した。

日程	時間	人数	協力団体
8/21（水）	10:00～12:00	46	NPO 法人あっと
2025/1/30（木）	10:00～12:00	48	NPO 法人ふらっとスペース金剛

●対象：地域子育て支援拠点等でプレママ・プレパパ向け講座の開催を希望する団体に所属する方

●コーディネーター：２名（ひろば全協理事）

●参加費：無料



（７）テーマ別交流会（会員限定 オンライン開催）

支援者の関心が高いテーマについて交流・情報交換し、支援者同士がピアサポートし合う機会として開催した。また交流会後の 30 分延長プログラム「ちょこっと交流会」も開催し、追加での情報交換が好評だった。

	日時	テーマ	人数	協力団体
1	7/17(水) 13:30～15:00 +ちょこっと交流会 30 分	ボランティアの力を拠点に活かす	33	認定 NPO 法人マミーズ・ネット
2	9/18(水) 13:30～15:00 +ちょこっと交流会 30 分	スタッフ同士のコミュニケーション	40	NPO 法人アンジュ・ママン
3	2025/1/14(火) 13:30～15:00 +ちょこっと交流会 30 分	地域を巻き込んだつながりづくり	33	NPO 法人松戸子育てさぽーとハーモニー

●参加要件：ひろば全協の会員であること

●コーディネーター：２名（ひろば全協理事）

●参加費：無料

３．こども家庭庁委託事業 地域の人材による子育て支援活動強化研修

地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の従事者、行政担当者、地域で子育て支援に従事している方々を対象に、５つの開催地に分けて、のべ 1,332 名の方々に参加いただいた。

（１）全国規模（全国セミナー）

テーマ：「ともに育ち ともに創る～多様化する時代、地域子育て支援拠点の未来を語り合おう！」

開催名	全国子育てひろば実践交流セミナー in 山口		
日時	11/3（日・祝） 11/4（月・振休）	13:00～17:30 9:00～12:30	（1 日目：全体会） （2 日目：分科会・全体会）
会場	山口市産業交流拠点施設 KDDI 維新ホール（山口県山口市小郡令和 1 丁目 1-1）		
後援	山口県、山口市、（社福）全国社会福祉協議会 日本子ども・子育て支援センター連絡協議会（ここネット）		
参加人数	456 名（2 日間でのべ 803 名） 1 日目参加者 400 名 2 日目参加者 403 名 第 1 分科会 59 名／第 2 分科会 97 名／第 3 分科会 59 名／第 4 分科会 132 名／第 5 分科会 56 名		
運営協力	全国子育てひろば実践交流セミナー in 山口実行委員会		
実行委員会事務局	NPO 法人あっと		

台風接近の影響で、対面実施が心配されたが、無事に2日間とも400名を超える参加者をお迎えして現地開催することができた。1日目は、こども家庭庁成育環境課の安里課長にご登壇いただき、国の最新情報を説明いただいた後、基調講演は、京都大学大学院人間・環境学研究科教授の柴田 悠先生にご登壇いただいた。その後、県の行政情報や拠点での実践事例を交えながら拠点事業のこれからについてパネルディスカッションを行った。2日目は5分科会を開催し、有識者の先生方の講義とともに全国の実践者が交流、情報交換をすることができた。開催にあたっては、実行委員会形式で県内実践団体に協力いただき、当日スタッフとして多くの方々の協力があったことでスムーズな運営を実現することができた。

《実行委員会》（所属は開催当時・敬称略）

実行委員長	伊藤一統	宇部フロンティア大学短期大学部保育学科 教授
実行委員	岡崎啓子	なないろキッズ 代表
	肥塚新一	社会福祉法人聖母園 園長（子育て支援センター めばえの会）
	佐藤光恵	NPO 法人やまぐちレーテ子育て Bambini 理事長
	新内和美	NPO 法人下関子ども・子育てネット 理事長
	宗里照美	社会福祉法人八波会若葉保育園 園長（子育て支援センター グリーンデイ）
	小川由美	NPO 法人アンジュ・ママン 施設長・ひろば全協 理事
	藤井智佳子	NPO 法人あっと 代表理事・ひろば全協 理事
オブザーバー	吉村功二	山口県こども・子育て応援局こども政策課保育・母子保健班長 主幹
	牧元優弥	山口県こども・子育て応援局こども政策課保育・母子保健班 主事
	横沼真介	山口市こども未来部こども未来課子育て応援担当 主幹
	木村浩美	山口市こども未来部こども未来課子育て応援担当 主任主事

<1日目> (13:00~17:30)

- 行政説明：地域の子育て支援に関する施策の現状
- 基調講演：子育て支援が日本を救う！ ～地域子育て支援拠点への期待～
- パネルディスカッション：こどもと家庭のウェルビーイングを高める 未来志向の子育て支援

<2日目>

●分科会 (9:00~11:30)

- 【第1】地域子育て支援拠点事業の機能と役割、未来に向けて
- 【第2】地域子育て支援拠点がより身近な相談の場となるために ～利用者支援事業や地域子育て相談機関のよき担い手をめざす～
- 【第3】多様なニーズに応える地域子育て支援拠点事業の質的向上について
- 【第4】こどもの権利の視点にたった”乳幼児の声を聴く“ひろばづくり～保護者や地域と共に～
- 【第5】妊娠期からの切れ目ない支援、母子保健との連携

●全体会 (11:40~12:30)

(2) 地方ブロック（地域子育て支援拠点研修）

開催名	愛知開催	福井開催	福島開催	東京開催
日時	8/4 (日) 10:00~16:00	9/8 (日) 10:00~16:00	9/22 (日・祝) 10:00~16:00	2025/1/26 (日) 10:00~16:00
会場	栄ガスビル 栄ガスホール (名古屋市中区栄 3-15-33)	プラザ萬象 小ホール (敦賀市東洋町 1-1)	コラッセふくしま 多目的ホール (福島市三河南町 1-20)	東京ウィメンズプラザ ホール (渋谷区神宮前 5-53-67)
後援	愛知県・名古屋市 (社福)全国社会福祉協議会	福井県・敦賀市 (社福)全国社会福祉協議会	福島県・福島市 (社福)全国社会福祉協議会	東京都 (社福)全国社会福祉協議会
参加人数	134 名	126 名	104 名	165 名
協力	認定NPO 法人 子育て支援のNPO まめっこ	NPO 法人子育てサポート センターきらきらくらぶ	NPO 法人 しらかわ市民活動支援会	NPO 法人 せたがや子育てネット

開催地事務局団体の協力のもと、いずれも100名を超える方々に参加いただくことができた。地域子育て相談機関やこども家庭センターなど、国の新たな仕組みについての注目度も高く、アンケートでは、資料集をよく読み返したいという声も多かった。パネルディスカッションでは、母子保健などの専門機関はもちろんのこと、多様な地域の社会資源と連携し、子育て家庭を包括的、継続的に支援していく仕組みづくりなど先進事例の発表があった。

4. 自治体等受託事業

地域子育て支援拠点従事者のための基礎研修・応用研修および、利用者支援事業等従事者研修、地域子育て支援士二種養成講座、講義型研修を実施した。基礎研修、応用研修についてはすべて対面研修で実施し、ファシリテーターの方々にも活躍していただいた結果、活発なグループワークを行うことができた。

※2024 年度末現在：基礎研修修了者 3,061 名、応用研修修了者 1,093 名

番号	契約先	支援員	研修内容	1日目	2日目	会場
1	世田谷区		基礎研修①(世田谷区初任者研修)	2024/7/11	2024/8/20	子ども・子育て総合センター
2	世田谷区		基礎研修②(世田谷区初任者研修)	2024/12/17	2025/1/21	子ども・子育て総合センター
3	世田谷区		応用研修(世田谷区初任者ステップアップ研修)	2024/10/18	2024/11/22	子ども・子育て総合センター
4	世田谷区		講義型研修(世田谷区リーダー研修①)	2024/7/18	-	世田谷区文化生活情報センター
5	世田谷区		講義型研修(世田谷区リーダー研修②)	2024/12/10	-	世田谷区立保健医療福祉総合プラザ
6	世田谷区		講義型研修(世田谷区中堅者研修)	2025/2/4	-	子ども・子育て総合センター
7	世田谷区		講義型研修(世田谷区相談対応スキルアップ①)	2024/9/19	-	世田谷区文化生活情報センター
8	世田谷区		講義型研修(世田谷区相談対応スキルアップ②)	2024/11/7	-	世田谷区男女共同参画センターらぶらす
9	世田谷区		講義型研修(世田谷区相談対応スキルアップ③)	2025/1/31	-	子ども・子育て総合センター
10	文京区	○	地域子育て支援士二種養成講座	2024/11/18	-	文京区民センター
11	山梨県		応用研修	2024/10/23	2024/11/28	山梨県青少年センター
12	浜松市	○	講義型研修	2024/9/4	-	浜松市役所
13	北九州市		講義型研修	2024/11/12	-	AIM アジア太平洋インポートマート
14	奈良市	○	利用者支援事業等従事者研修	2025/2/27	-	オンライン
15	練馬区		基礎研修	2024/12/4	2025/1/16	ココネリ
16	練馬区		応用研修	2024/12/2	2025/1/9	ココネリ
17	香川県		講義型研修	2024/10/22	2024/11/29	高松:サンメッセ香川 丸亀:丸亀市市民交流活動センター
18	大分県	○	地域子育て支援士二種養成講座	2024/11/25	-	コンパルホール大分
19	池田市	○	地域子育て支援士二種養成講座にて受講	2024/6/28	-	オンライン
20	池田市	○	地域子育て支援士二種養成講座にて受講	2024/8/29	-	オンライン
21	池田市	○	地域子育て支援士二種養成講座にて受講	2024/11/26	-	オンライン
22	池田市	○	地域子育て支援士二種養成講座にて受講	2025/2/12	-	オンライン
23	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【鳥取県】前期	2024/8/2	-	オンライン
24	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【鳥取県】後期	2024/10/9	-	オンライン
25	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(特定型)【鳥取県】	2024/11/7	-	オンライン
26	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【福島県】	2024/11/21	2024/12/20	オンライン
27	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(基本型)【福島県】	2025/1/7	2025/1/8	オンライン
28	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【東京都】	2024/10/4	-	トヨタドライビングスクール(立川)
29	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【東京都】	2024/11/27	-	ワイム(高田馬場)
30	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【東京都】	2025/2/9	-	ワイム(お茶の水)
31	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【東京都】	2025/2/26	-	こくほ 21(新宿)
32	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(基本型)【東京都】	2024/10/12	2024/10/13	ワイム(お茶の水)
33	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(基本型)【東京都】	2024/11/11	-	トヨタドライビングスクール(立川)
34	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(基本型)【東京都】	2025/2/7	-	こくほ 21(新宿)
35	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(特定型)【東京都】	10/31~11/11	-	オンライン(オンデマンド)
36	仙台市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
37	柏市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
38	青森市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
39	荻崎市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
40	見附市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
41	仙台市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/11/18	-	オンライン
42	山鹿市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/11/18	-	オンライン
43	和歌山県 ホッピング	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/11/18	-	オンライン
44	上野原市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2025/2/12	-	オンライン

5. 自主事業

(1) 地域子育て支援拠点等 初任者研修 (オンライン会議)

実践現場の初任者が押さえておきたい知識を2時間にまとめた初任者研修を5回開催し388名が受講。地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」を軸に、子育ての現状や制度、地域子育て支援拠点事業の意義や役割、基本的な支援のあり方、守秘義務などを学ぶ機会を提供することができた。

	日程	時間	人数	講師
1	6/20 (木)	10:00~12:00	93	藤井
2	8/1 (木)	10:00~12:00	87	野口
3	10/29 (火)	10:00~12:00	84	廣崎
4	12/5 (木)	10:00~12:00	68	野口
5	2025/2/4 (火)	10:00~12:00	56	廣崎

- 講師：1名 (ひろば全協理事)
- 受講料：3,300円 (税込) /1名
- 受講対象：地域子育て支援拠点等の初任者、ボランティアスタッフなど
- 受講要件：PC等 (1名1台) で顔を表示して受講できること

(2) 地域子育て支援士二種養成講座 (オンライン開催)

2024年度は5回の講座を実施。全国の地域の子育て支援にかかわるスタッフや、ボランティア、学生など幅広い方々の認定講座として多くの方に受講いただいた。2024年度末の認定者数は5,325名となった。

*「地域子育て支援士」は登録商標を取得済み。商標登録第5708302号

	日程	時間	協力団体	人数	講師
1	6/28 (金)	9:30~16:50	NPO法人せたがや子育てネット	56	松田
2	8/29 (木)	9:30~16:50	認定NPO法人わははネット	57	中橋
3	9/28 (土)	9:30~16:50	認定NPO法人びーのびーの	44	奥山
4	11/26 (火)	9:30~16:50	NPO法人ふらっとスペース金剛	56	廣崎
5	2025/2/12 (水)	9:30~16:50	NPO法人あっと	33	藤井

- 講師：1名 (ひろば全協理事)
- 受講料：9,900円 (税込)
- 認定：講座終了時の認定試験合格者に認定証発行
- 受講要件

- ①地域子育て支援拠点等における活動者 (有給の職員だけでなく継続的なボランティアも含む)
- ②大学・短大・専門学校等において保育士・社会福祉士・保健師 いずれかの養成課程に在籍する学生、その他、心理学を修める大学の学部・学科に在籍する学生
- ③保育士・社会福祉士・保健師のいずれかの資格取得者
- ④地域子育て支援拠点等におけるボランティア経験を有する者



(3) 地域子育て支援士一種養成講座

地域子育て支援拠点等の従事者に対し、一定の養成教育を受けたことをひろば全協が認定する資格講座。5年ぶりに実施し、全国から30名の方にお申込みをいただいた。2024年度末の認定数は182名。

日程	時間	会場	講師	人数
8/24 (土) ~8/26 (月)	10:00~17:20	GINZA Uni-Ku7 丁目店	渡辺顕一郎先生・奥山千鶴子	30

- 受講料：50,600円 (税込/1名)
- 認定：3日間を通して講座を受講し振り返りレポートを提出した方に認定証を発行
- 受講要件：要件①・②の両方を満たし、3日間すべて受講可能な方
 - 【要件①】週3日1日3時間以上開設の地域子育て支援拠点等で概ね3年または通算1,300時間程度の実践経験
 - 【要件②】*以下の項目のいずれかを満たすこと
 - 保育士・社会福祉士・看護師・助産師・保健師・精神保健福祉士・臨床心理士・「地域子育て支援士二種」認定者・ひろば全協「応用研修」修了者・地域子育て支援拠点の「所長」として3年以上の経験者

(4) 利用者支援事業等従事者研修(オンライン開催)

2024 年度から研修事業名について、利用者支援事業に関する研修であることを明確にするために、「子育て支援コーディネーター養成講座」から「利用者支援事業等従事者研修」に変更した。
尚、国の子育て支援員専門研修の利用者支援事業(基本型)のシラバスと合致することから、自治体の子育て支援員研修としても活用いただいている。(2024 年度末での修了者数は 1,210 名)

	日程	時間	人数	講師
1	8/5 (月)	9:30~18:30	40	小川・石田
2	11/18 (月)	9:30~18:30	55	中條・安田

- 講師：2 名（ひろば全協理事）
- 受講料：26,400 円（税込）
- 修了証書：事前課題に取り組んだ上、講座を受講した方に修了証書発行
- 受講要件：地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、概ね 3 年または通算 1,300 時間程度の実践経験者、および、それらに準ずる者

(5) 利用者支援スキルアップ講座（オンライン開催）

弁護士の塙先生をお招きし、利用者支援事業に従事している中で感じている人間関係のヒヤリハット、コンプライアンスに関する疑問や課題について受講者と一緒に考える機会を提供することができた。

日程	時間	人数	コーディネーター
2025/2/12 (水)	13:30~16:30	42	松田

- テーマ：「距離を縮めると衝突する人間関係 ～利用者支援と法的リスクを考えよう」
- 受講料：12,100 円（税込）
- 講師：塙創平さん（りのは綜合法律事務所）
- 受講要件：下記のいずれかに当てはまる方
 - ・子育て支援コーディネーター養成講座の修了者
 - ・利用者支援事業現任者
 - ・利用者支援事業に類する業務の従事者

(6) リーダーシップ研修（*会員限定 オンライン+対面開催）

2024 年度は、特別に 3 日間開催とし、1 日がオンライン、2 日目、3 日目は対面研修として実施した。
1 日目は、「創設者から学び、未来を展望する」というテーマで、2024 年度の総会をもって理事を退任された坂本、野口、中橋さんにオンラインで登壇いただき、ひろば全協創設時からのリーダーとしての考え方や次世代へメッセージを語っていただいた。2 日目からは 5 年ぶりの対面研修であり、参加者からは、「全国の仲間に来て話せて嬉しい」「たくさん学びや気づきがあった」などの感想をいただいた。

開催日時		開催方法	人数
6/26(水)	13:00~17:00 (オンライン)	オンライン開催	49
7/6 (土)	13:00~18:00 (対面)	会場：横浜ワールドポーターズ	
7/7 (日)	9:00~12:00 (対面)	(横浜市中区新港 2-2-1)	

- 対象者：団体の代表、理事、サブリーダー、次世代リーダーなどでリーダーシップを身につけたい方
- 受講料：22,000 円（税込）
- 受講要件：
 - ・ひろば全協の会員の方
 - ・PC 等（1 名 1 台）で顔を表示して受講できること（1 日目のみ）

(7) 公開セミナー（オンライン開催）

こども基本法にのっとり策定された「幼児期までにこどもの育ちに係る基本的なビジョン（こどもの育ちのビジョン）」では、母親の妊娠期から幼保小接続期の重要な時期がおおむね 100 か月であることから、「はじめの 100 か月」の育ちを支え生涯にわたるウェルビーイングの向上が強調されている。そこで、国の部会の委員として関わられた大豆生田先生に 5 つのビジョンを中心に解説いただき、その後のトークセッションでは、拠点事業の実践にどう活かすことができるかを考える機会とすることができた。

●日時：2024 年 6 月 2 日（日）14:00～16:30

●対象者：子育てひろばに関わる実践者・行政担当者・研究者など

●参加人数：261 名

●テーマ：「こどもの育ちのビジョンを実践に活かすために」

プログラム 1 行政説明：「地域の子育て支援に関する施策の現状」

こども家庭庁成育局成育環境課長 山口正行さん

プログラム 2

基調講演&ミニトークセッション（14:50～15:50）

講師：大豆生田啓友さん（玉川大学教育学部 教授）

聞き手：奥山千鶴子（NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長）

プログラム 3

情報交換会

コーディネーター：藤井智佳子（ひろば全協 理事）

(8) 書籍販売

「詳解 地域子育て支援拠点ガイドラインの手引 子ども家庭福祉の制度・実践をふまえて 第 4 版」

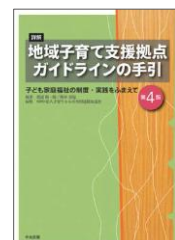
●価格：2,420 円(税込)

●発行：中央法規出版

（ご参考）これまでの発行部数 21,000 部

【第 1 版】5,000 部 【第 2 版】6,000 部

【第 3 版】6,500 部 【第 4 版】3,500 部（2023 年 1 月発行）



「地域子育て支援拠点で取り組む利用者支援事業のための実践ガイド」

●価格：1,980 円(税込)

●発行：中央法規出版

（ご参考）これまでの発行部数 6,000 部

【初版】4,000 部 【第 2 版】2,000 部



(9) 子育てひろば総合補償制度の拡充 *引き受け保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

子育てひろばで発生しうる事故を想定して作られた総合補償制度であり、任意加入ではあるものの、安心、安全のためにもひろば保険の普及に努めた。具体的には、利用者支援事業の実施が進む中で、人格権侵害や個人情報漏えい保険などを紹介するとともに、職員のけがに対する補償についても周知を行った。

- 対象となる会員：「子育てひろば」もしくは類似の事業を実施されている会員の方
- 保険期間：1年間（2024年4月1日午後4時～2025年4月1日午後4時まで）
- ※約定履行費用保険のみ、2024年4月1日午前0時～2025年3月31日午後12時

- 概要（1）賠償責任補償制度
- （2）ひろば施設内利用者傷害見舞金制度
- （3）近隣活動・移動中傷害見舞金制度
- （4）ひろば職員傷害保険制度
- （5）サイバーリスク保険制度（個人情報漏えい保険）

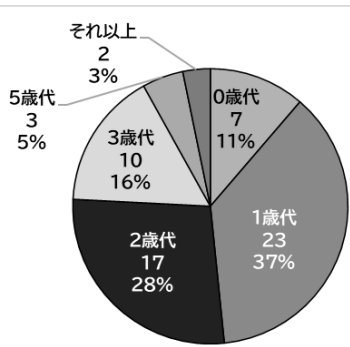
(ご参考)2024年度のひろば保険事故報告一覧

保険内容		件数
賠償責任補償制度	—	2
ひろば施設内利用者傷害見舞金制度	こども	62
	大人	5
近隣活動・移動中傷害見舞金制度	—	1
ひろば職員傷害保険制度	—	11

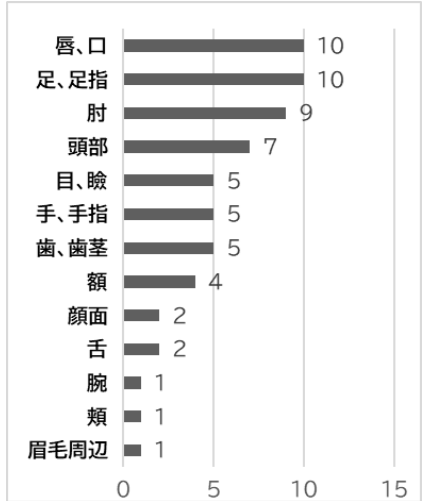
●こどもの怪我の内容 N=62



●こどもの年齢 N=62



●怪我の部位



ひろば施設内利用者傷害見舞金制度の事故状況

種類	数	状況
接触 ぶつかる	18	狭い隙間を通り右足首捻挫
		つかまり立ちで座り込んだ際、顔を棚に接触
		水を飲もうとして顔をテーブルにぶつけた
		座っているときに転び、籠に頭をぶつけた
		寝返り時におもちゃに当たり、口の中を切った
		子ども同士でぶつかった
		ボールプールで転び、すべり台下の角にぶつけた
		遊具より飛び降りた際口を強打
		ロッカー角に顔をぶつけた
		倒れてテーブルに口をぶつけた（2件）
		子どもが他児と衝突し転倒
		遊んでいて床に滑って顔をぶつけた
		おもちゃの取り扱い
		転倒した際に口をぶつけた
		手すりをつかみ損ねて口元を手すりにぶつけた
		手をつこうとして転倒し顔をぶつけた
		別のこどもが投げた本が目当たった
転落 落下	10	ソファ（30センチ）から転落、床に両手をついた
		すべり台横からジャンプした
		ソフトブロックを積んで飛び降りた
		すべり台で階段を踏み外し落下（4件）
転倒	26	体勢を崩し抱っこ中に床に落ちた（2件）
		つかまり立ち中に前に転倒
		マットで転び下唇切傷
		後ろ歩きをして転倒、顔を遊具にぶつけた
		フロアの真ん中で転倒
		転倒し下唇切傷
		転倒し右手捻挫
		小走りで移動の際転倒
		躓いてテーブルに口をぶつけた
		椅子から転倒
		ひろば内で転倒し受付台の角にぶつけた
		躓いて長椅子のヘリで頬を打った
		遊具から転んで右ひじ脱臼
		室内遊具の移動の際転倒
		室内遊具の穴から出ようとした際転倒
		マットに躓き転倒
		走っていて転倒
		転んで左目強打
		すべり台に躓き転倒
		手押し車で転倒し顔をぶつけた
		手洗いの際転倒し顔を打った
		おもちゃを追いかけていて転倒
		ハイハイで転倒し本棚に顔をぶつけた
		コップを持って転倒し目尻を裂傷
		ひろば内駐車場で転倒
		トランポリンで転び顔を打った
		躓いて転倒
		ハイハイで転倒
引っ張る （脱臼）	2	母親が腕を引っ張った際に脱臼 接触しかけて相手の子の両腕を持った
挟む	1	ドアで遊んでいて右手指を挟んだ
その他	5	箱に入り込み口腔内を切った
		木製ベンチの脚を触り棘が刺さり化膿
		手洗い場で顔を切った
		職員と一緒に跳んでいるときに肘が痛くなった おもちゃで移動中、突然肘が痛くなった

6. 政策提言・情報提供・情報収集活動

(1) 意見書の提出・情報提供

【提出した意見書】

- ・ 5 月 24 日 令和 7 年度子育て支援関連予算・制度等に向けての意見書
- ・ 8 月 2 日 こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会（第 6 回）への意見書
- ・ 9 月 26 日 第 2 回こども誰でも通園制度の制度化、本格実施に向けた検討会への意見書
- ・ 10 月 17 日 こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会（第 7 回）への意見書
- ・ 11 月 20 日 こども家庭審議会第 4 回成育医療等分科会への意見書
- ・ 12 月 19 日 こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会（第 8 回）への意見書
- ・ 12 月 26 日 第 4 回こども誰でも通園の制度化、本格実施に向けた検討会への意見書
- ・ 2025 年 3 月 4 日 こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会（第 9 回）への意見書
- ・ 2025 年 3 月 12 日 こども家庭審議会第 5 回成育医療等分科会への意見書

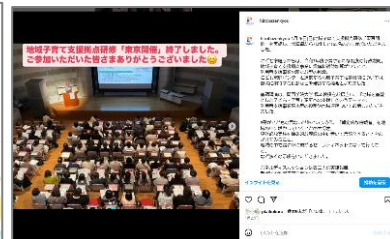
(2) 情報紙「子育てひろば」発行

- 発行時期：vol. 29（2024 年 8 月）、vol. 30（2025 年 3 月）
- 発行部数：各 1,700 部

(3) ホームページの充実と SNS での情報発信

2024 年 3 月にホームページの改訂を行い、さらなるホームページの充実のために、各種事業の報告や情報提供などを行った。

- 各種セミナー、養成講座の募集告知
- 研修セミナー等の報告書が PDF で閲覧可能
- 国の委員会への意見書や国の最新情報共有
- 「各地のひろば」更新による会員ネットワーク形成



また、Instagram における SNS 発信は 120 投稿を行った。

Instagram QR コード

(2025 年 3 月末フォロワー数 1127)

(4) メールニュース配信

各種研修事業の案内や国の制度などの最新情報を提供。会員限定。

Vol. 205【2025 年 4 月 19 日発行】～Vol. 216【2025 年 3 月 21 日発行】全 12 本

(5) 電話相談対応

会員、行政等からの問い合わせ、ひろば保険、制度、運営等に関する相談対応。

(6) 新聞等メディア対応

取材対応、取材対象先に関する情報提供など。

7. 後援事業・委員委嘱

<後援名義>

①第22回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会 2024

日程：2024年11月17日（日）13:00～17:30

主催：特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク

<委員委嘱>

●2024年度 委員委嘱一覧

- ①内閣官房 こども未来戦略会議構成員 奥山千鶴子
- ②こども家庭庁 こども家庭審議会子ども・子育て支援等分科会委員 奥山千鶴子
- ③こども家庭庁 こども家庭審議会成育医療等分科会委員 藤井智佳子
- ④こども家庭庁 こども家庭審議会幼児期までのこどもの育ち部会 奥山千鶴子
- ⑤こども家庭庁 こども誰でも通園制度に関する検討会委員 奥山千鶴子
- ⑥こども家庭庁 こどもまんなか社会実現プラットフォーム（仮）設立準備会合委員 奥山千鶴子
- ⑦こども家庭庁 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」策定後の具体的な取組推進（具体的な行動に活かせるコンテンツ作成）に係る委託事業企画委員会委員（JTBコミュニケーションデザイン） 奥山千鶴子
- ⑧厚生労働省 地域共生社会の在り方検討会委員 松田妙子
- ⑨健やか親子21推進本部幹事会委員 奥山千鶴子
- ⑩国土交通省 社会資本整備審議会住宅宅地分科会臨時委員 奥山千鶴子
- ⑪国土交通省 子育てにやさしい移動に関する協議会委員 松田妙子
- ⑫国土交通省 バリアフリー基準に関する検討会委員 松田妙子
- ⑬国土交通省 バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会委員 松田妙子
- ⑭横浜市 親と子のつどいの広場事業運営団体選定委員会委員 松田妙子
- ⑮（一社）全国食支援活動協力会 「広がれ、こども食堂の輪！」推進会議委員 廣崎祥子
- ⑯（一社）読売調査研究機構 さいたま市子育て支援策検証業務「有識者委員会」委員 奥山千鶴子
- ⑰恩賜財団母子愛育会 時代に応じた新たな愛育活動の在り方検討会 奥山千鶴子

●2024年度 こども家庭庁委託事業の調査研究への委員参画

- ①出産、子育て応援交付金事業における伴走型相談支援のあり方に関する調査研究（野村総研） 小川由美
- ②地域子育て相談機関のあり方に関する調査研究（野村総研） 中條美奈子
- ③「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」策定後の具体的な取り組み推進に係る委託事業一式実態調査委員会委員（日本能率協会） 奥山千鶴子
- ④10年後の子ども・子育て支援の在り方を考える研究会委員（日本総研） 奥山千鶴子

委員会ではない形式

- ①孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会（内閣府） ひろば全協として参画

8. 受取寄付金・給付金等のご報告

●熊谷組スマイルプロジェクト（株式会社熊谷組）：500,000円

株式会社熊谷組様の社会貢献活動プラットフォーム「熊谷組スマイルプロジェクト」に選定していただいた。社員の方がボランティア休暇を利用し、夕涼み会でスイカ割りのお手伝いなど、親子の見守りも行っていた。また、熊谷組のマスコットキャラ「くま所長」をあしらった『くまトレイン』を親子にプレゼントしていただいた。

●バイグニコ活動による資金支援プログラム『CSRイベント2024』（江崎グリコ株式会社）：758,066円

従業員自社商品購入点数をポイント化し、そのポイントを資金とした助成をいただいている。「健康」「食」「子ども」をテーマにした地域貢献活動のうち、「こども」の分野でひろば全協をお選びいただいた。北海道、宮城、神奈川のひろばに協力いただき、社員の方がボランティアに参加。北海道らしい屋外での活動や周年イベントのお手伝いなど利用者との交流も行うことができた。